

神奈川県森林土木事業設計要領（治山編）
第3編 新旧対照表

新	旧
第1章 治山事業設計歩掛 第1節 土 工 1～6（略） 7. 人力土工(土砂) ※H30 森林整備保全事業標準歩掛(土工)1－3 人力土工(土砂)から一部転記 (3) 適用作業 エ 人力盛土（埋戻し） （<u>標準歩掛治山編 1-2-1 人力埋戻工</u>を適用） (4) 施工歩掛 エ 人力盛土（埋戻し）歩掛 （<u>標準歩掛治山編 1-2-1 人力埋戻工</u>を適用） 8. 埋戻(標準歩掛 第2編治山1－2) (1) 略 (2) 土留工の埋戻 埋戻土量は設計図書から算出し、積算は以下のとおりとする。 a・・・埋戻し＋敷均＋締固 b・・・埋戻＋敷均し(＋締固) ※条件に応じて締固を計上。(例：もたれタイプ土留等) c・・・埋戻し＋敷均 機械施工(バックホウ使用)の場合 埋戻は「ルーズ」、敷均し及び締固は、<u>標準歩掛治山編 1-2-2 締固め（2）締固め作業C</u>を使用する。 ただし、土留工が大規模構造物であって、振動ローラ等の機械の搬入が可能な場合は、<u>標準歩掛治山編 1-2-2 締固め（1）締固め作業A、B</u>とする。 人力施工の場合 埋戻（敷均含む）は<u>標準歩掛治山編 1-2-1 人力埋戻工</u>を使用する。 9（略） 第2節 1～10（略） 11. 箱シュート運搬 (1) ～(3)（略）	第1章 治山事業設計歩掛 第1節 土 工 1～6（略） 7. 人力土工(土砂) ※H30 森林整備保全事業標準歩掛(土工)1－3 人力土工(土砂)から一部転記 (3) 適用作業 エ 人力盛土（埋戻し） （<u>標準歩掛共通工 1-4 埋戻工 4（1）埋戻工D</u>を適用） (4) 施工歩掛 エ 人力盛土（埋戻し）歩掛 （<u>標準歩掛共通工 1-4 埋戻工 4（1）埋戻工D</u>を適用） 8. 埋戻(標準歩掛 第2編治山1－1、1－2) (1) 略 (2) 土留工の埋戻 埋戻土量は設計図書から算出し、積算は以下のとおりとする。 a・・・埋戻し＋敷均＋締固 b・・・埋戻＋敷均し(＋締固) ※条件に応じて締固を計上。(例：もたれタイプ土留等) c・・・埋戻し＋敷均 機械施工(バックホウ使用)の場合 埋戻は「ルーズ」、敷均は本項(3)敷均歩掛を、締固は<u>標準歩掛共通工 1-4 埋戻工 3（2）タンパ締固め</u>を使用する。 ただし、土留工が大規模構造物であって、振動ローラ等の機械の搬入が可能な場合は、別途考慮する。 人力施工の場合 埋戻（敷均含む）は<u>標準歩掛共通工 1-4 埋戻工 4（1）埋戻工D</u>を使用する。 9（略） 第2節（略） 1～10（略） 11. 箱シュート運搬 (1) ～(3)（略）

神奈川県森林土木事業設計要領（治山編）
第3編 新旧対照表

新					旧				
(4) 資材運搬歩掛					(4) 資材運搬歩掛				
(400m3 あたり)					(400m3 あたり)				
名称	規格	単位	数量	摘要	名称	規格	単位	数量	摘要
山林砂防工 (普通作業員)		人	24	シュートロへのはね込み	山林砂防工 (普通作業員)		人	24	シュートロへのはね込み
山林砂防工 (普通作業員)		人	24	受マスからのはね込み	山林砂防工 (普通作業員)		人	24	受マスからのはね込み
板材	2.4cm×21cm×4.0m	m3	0.247	受マス部損料	板材	2.4cm×21cm×4.0m	m3	0.247	受マス部損料
角材	4.5cm×4.5cm	m3	0.051	受マス部損料	角材	4.5cm×4.5cm	m3	0.051	受マス部損料
鉄丸釘	N100	Kg	1.22	運搬量に関わらず全損	鉄丸釘	N100	Kg	1.22	受マス部損料
なまし鉄線	#10	Kg	4.10	運搬量に関わらず全損	なまし鉄線	#10	Kg	4.10	受マス部損料
板材	2.4cm×21cm×4.0m	m3	0.0304×L	流送部損料	板材	2.4cm×21cm×4.0m	m3	0.0304×L	流送部損料
角材	4.5cm×4.5cm	m3	0.0011×L	流送部損料	角材	4.5cm×4.5cm	m3	0.0011×L	流送部損料
鉄丸釘	N100	Kg	0.183×L	運搬量に関わらず全損	鉄丸釘	N100	Kg	0.183×L	流送部損料
なまし鉄線	#10	Kg	0.159×L	運搬量に関わらず全損	なまし鉄線	#10	Kg	0.159×L	流送部損料
木杭	φ9cm、長1.2m	本	1×L	流送部損料	木杭	φ9cm、長1.2m	本	1×L	流送部損料
(注) 1 L＝流送部の延長（m）とする。 2 損料は、砂・砂利・礫交り土等が400 m ³ 流下したときに全損として計算。 3 積石・積ブロックを運搬するときは1 m ² を1 m ³ と換算する。					(注) 1 L＝流送部の延長（m）とする。 2 損料は、砂・砂利・礫交り土等が400 m ³ 流下したときに全損として計算。 3 積石・積ブロックを運搬するときは1 m ² を1 m ³ と換算する。				
(5) (略)					(5) (略)				
12 (略) 第3節 コンクリート工 1～3 (略)					12 (略) 第3節 コンクリート工 1～3 (略)				

神奈川県森林土木事業設計要領（治山編） 第3編 新旧対照表

新

4．治山ダム工

(1) ア（略）
イ．残存型枠
１．残存型枠（コンクリート二次製品）
土木工事標準積算基準書 第Ⅲ編河川第３章②－４残存型枠工 を適用する。
２．残存型枠(残存軽量型枠)

(100m2 あたり)

名	称	単 位	数 量	摘 要
世	話	役 人	1.50 (2.80)	BH 山積み(0.28m3) の場合は () の値とする
型	枠	工 //	1.70 (3.00)	BH 山積み(0.28m3) の場合は () の値とする
山	林 砂 防 工	//	3.50 (6.00)	BH 山積み(0.28m3) の場合は () の値とする
型	枠	m2	106.0	600×1200 (mm)、ロス率 6%を見込む
取	り 付 け 部 品	m2	100.0	
ラ フ テ レ ー ン ク レ ー ン (バックホウ(クレーン機能付))	日 (h)	0.50 3.00	ラ：油圧伸縮ジブ 25t 吊 バ：山積み(0.45m3)又は (0.28m3)	
諸	雑 費	%	13.0	

備考 １．上記歩掛は水抜きパイプの設置を含むものであるが、水抜きパイプの有無にかかわらず適用できる。水抜きパイプは別途計上する。

２．諸雑費は組立支持材及び電気溶接機、コンクリートカッター、高圧洗浄機、電気ドリル、電力に関する諸経費であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

３．ラフテレーンクレーンは賃料を計上する。

４．ラフテレーンクレーンが搬入できない現場ではバックホウ(クレーン機能付、山積 0.45m3 又は 0.28m3)を計上することができる。ただし、その場合は以下のことに注意すること。
・型枠材の運搬範囲がバックホウ設置箇所から水平距離で 4 m (0.28m3 の場合 2.5m) 以内、垂直距離で 5 m (0.28m3 の場合 4.5m) 以内の範囲であることを確認すること。(クレーン作業の作業可能範囲の確認)

５．ラフテレーンクレーンの運転時間は 6.00 時間／日とする。(森林保全事業建設機械経費積算要領：建設機械損料算定表参照 720(時間)/120(日)=6.00。

5（略）

6．コンクリート土留工

(1) 型枠工（森林整備保全事業施工パッケージ型積算方式 3 章②型枠工）
・ コンクリート土留工は森林整備保全事業施工パッケージ型積算方式 3 章②型枠工の無筋構造物を適用。
・ 残存型枠(残存軽量型枠)を使用する場合はイ．残存型枠 2．残存型枠(残存軽量型枠)を適用する。

旧

4．治山ダム工

(1) ア（略）
イ．残存型枠
１．残存型枠（コンクリート二次製品）
土木工事標準積算基準書 第Ⅲ編河川第３章②－４残存型枠工 を適用する。
２．残存型枠(残存軽量型枠)

(100m2 あたり)

名	称	単 位	数 量	摘 要
世	話	役 人	1.50 (追加)	<u>(追加)</u>
型	枠	工 //	1.70 (追加)	<u>(追加)</u>
山	林 砂 防 工	//	3.50 (追加)	<u>(追加)</u>
型	枠	m2	106.0	600×1200 (mm)、ロス率 6%を見込む
取	り 付 け 部 品	m2	100.0	
ラ フ テ レ ー ン ク レ ー ン (バックホウ(クレーン機能付))	日 (h)	0.50 3.00	ラ：油圧伸縮ジブ 25t 吊 バ：山積み(0.45m3)	
諸	雑 費	%	13.0	

備考 １．上記歩掛は水抜きパイプの設置を含むものであるが、水抜きパイプの有無にかかわらず適用できる。水抜きパイプは別途計上する。

２．諸雑費は組立支持材及び電気溶接機、コンクリートカッター、高圧洗浄機、電気ドリル、電力に関する諸経費であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

３．ラフテレーンクレーンは賃料を計上する。

４．ラフテレーンクレーンが搬入できない現場ではバックホウ(クレーン機能付、山積 0.45m3) (追加)を計上することができる。ただし、その場合は以下のことに注意すること。
・型枠材の運搬範囲がバックホウ設置箇所から水平距離で 4 m (追加) 以内、垂直距離で 5 m (追加) 以内の範囲であることを確認すること。(クレーン作業の作業可能範囲の確認)

５．ラフテレーンクレーンの運転時間は 6.00 時間／日とする。(森林保全事業建設機械経費積算要領：建設機械損料算定表参照 720(時間)/120(日)

5（略）

6．コンクリート土留工

(1) 型枠工（森林整備保全事業施工パッケージ型積算方式 3 章②型枠工）
・ コンクリート土留工は森林整備保全事業施工パッケージ型積算方式 3 章②型枠工の無筋構造物を適用。
・ 残存型枠(残存軽量型枠)を使用する場合は以下のとおりとする。

神奈川県森林土木事業設計要領（治山編）
第3編 新旧対照表

新	旧																																
(削除)	(100m2 あたり) <table><tr><th>名 称</th><th>単 位</th><th>数 量</th><th>摘 要</th></tr><tr><td>世 話 役</td><td>人</td><td>2.80</td><td></td></tr><tr><td>型 枠 工</td><td>㎡</td><td>3.00</td><td></td></tr><tr><td>山 林 砂 防 工</td><td>㎡</td><td>6.00</td><td></td></tr><tr><td>型 枠</td><td>㎡</td><td>106.0</td><td>600×1200 (mm)、ロス率 6%を見込む</td></tr><tr><td>取 り 付 け 部 品</td><td>㎡</td><td>100.0</td><td></td></tr><tr><td>ラ フ テ レ ー ン ク レ ー ン (バックホウ(クレーン機能付))</td><td>日 (h)</td><td>0.50 3.00</td><td>ラ：油圧伸縮ジブ 25t 吊 バ：山積み(0.28m3)</td></tr><tr><td>諸 雑 費</td><td>%</td><td>13.0</td><td></td></tr></table> 備考 1. 上記歩掛は水抜きパイプの設置を含むものであるが、水抜きパイプの有無にかかわらず適用できる。水抜きパイプは別途計上する。 2. 諸雑費は組立支持材及び電気溶接機、コンクリートカッター、高圧洗浄機、電気ドリル、電力に関する諸経費であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 3. ラフテレーンクレーンは賃料を計上する。 4. ラフテレーンクレーンが搬入できない現場ではバックホウ(クレーン機能付、山積 0.28m3)を計上することができる。ただし、その場合は以下のことに注意すること。 ・型枠材の運搬範囲がバックホウ設置箇所から水平距離で 2.5m 以内、垂直距離で 4.5m 以内の範囲であることを確認すること。(クレーン作業の作業可能範囲の確認) 5. ラフテレーンクレーンの運転時間は 6.00 時間／日とする。(森林整備保全事業建設機械経費積算要領)：建設機械損料算定表参照 720(時間)/120(日)=6.00 第 4 節～第 6 節 (略) 第 7 節 仮 設 工 1. 準備工 (1) 仮締切、廻排水 ①～④ (略)	名 称	単 位	数 量	摘 要	世 話 役	人	2.80		型 枠 工	㎡	3.00		山 林 砂 防 工	㎡	6.00		型 枠	㎡	106.0	600×1200 (mm)、ロス率 6%を見込む	取 り 付 け 部 品	㎡	100.0		ラ フ テ レ ー ン ク レ ー ン (バックホウ(クレーン機能付))	日 (h)	0.50 3.00	ラ：油圧伸縮ジブ 25t 吊 バ：山積み(0.28m3)	諸 雑 費	%	13.0	
名 称	単 位	数 量	摘 要																														
世 話 役	人	2.80																															
型 枠 工	㎡	3.00																															
山 林 砂 防 工	㎡	6.00																															
型 枠	㎡	106.0	600×1200 (mm)、ロス率 6%を見込む																														
取 り 付 け 部 品	㎡	100.0																															
ラ フ テ レ ー ン ク レ ー ン (バックホウ(クレーン機能付))	日 (h)	0.50 3.00	ラ：油圧伸縮ジブ 25t 吊 バ：山積み(0.28m3)																														
諸 雑 費	%	13.0																															

神奈川県森林土木事業設計要領（治山編）
第3編 新旧対照表

新					旧				
⑤ 合成樹脂管使用廻排水歩掛					⑤ 合成樹脂管使用廻排水歩掛				
(10m当り)					(10m当り)				
名称	規格	単位	数量		名称	規格	単位	数量	
高密度ポリエチレン管	300mm	m	10.00	(損 0.45 率) 0.55	高密度ポリエチレン管	300mm	m	10.00	(損 0.45 率) 0.55
木材	末口径 9cm L=1.0m	m³	0.041	(損 <u>0.60</u> 率) <u>0.70</u>	木材	末口径 9cm L=1.0m	m³	0.041	(損 <u>0.25</u> 率) <u>0.40</u>
雑材料		%	1.00		雑材料		%	1.00	
山林砂防工 普通作業員		人	1.08	布設 0.60 人、 取除き 0.48 人	山林砂防工 普通作業員		人	1.08	布設 0.60 人、 取除き 0.48 人
備考 1. 損率の上段は、3ヶ月未満の場合、下段は6ヶ月未満の場合である。 2. 木材の数量は、0.09²×1.0×2×2.5=0.041 m³とする。(2×2.5=5本) 3. 雑材料は、鉄線等で労務費の1.0%を計上する。					備考 1. 損率の上段は、3ヶ月未満の場合、下段は6ヶ月未満の場合である。 2. 木材の数量は、0.09²×1.0×2×2.5=0.041 m³とする。(2×2.5=5本) 3. 雑材料は、鉄線等で労務費の1.0%を計上する。				
(2) (略)					(2) (略)				
2～9 (略)					2～9 (略)				

神奈川県森林土木事業設計要領（治山編）
第3編 新旧対照表

新										旧																													
第8節 そ の 他										第8節 そ の 他																													
																				1（略）																			
																														2. その他									
(4) 布製型枠設置工										(4) 布製型枠設置工																													
ア～エ（略）										ア～エ（略）																													
オ. 布製型枠設置工										オ. 布製型枠設置工																													
(ア) 三面張水路工										(ア) 三面張水路工																													
水深 50cm 以下までの場合。但し、流量、流速計算は、マンニングの公式を使用すること。										水深 50cm 以下までの場合。但し、流量、流速計算は、マンニングの公式を使用すること。																													
(施工面積 100 m ² 当り)										(施工面積 100 m ² 当り)																													
名 称		種別	モルタル充填 (水抜孔有)マット		モルタル充填 (水抜孔無)マット		コンクリート充填 マット		名 称		種別	モルタル充填 (水抜孔有)マット		モルタル充填 (水抜孔無)マット		コンクリート充填 マット																							
		平均厚 (cm)	10	15	10	15	30	50			平均厚 (cm)	10	15	10	15	30	50																						
		注入材	モルタル 1：2	モルタル 1：2	モルタル 1：2	モルタル 1：2	コンクリート 210-21-25	コンクリート 210-21-25			注入材	モルタル 1：2	モルタル 1：2	モルタル 1：2	モルタル 1：2	コンクリート 210-21-25	コンクリート 210-21-25																						
材料	布製型枠	m ²	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	材料	布製型枠	m ²	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0																						
	注入材料	m ³	12.0	18.0	12.0	18.0	33.4	55.7		注入材料	m ³	12.0	18.0	12.0	18.0	33.4	55.7																						
	雑材料	%	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0		雑材料	%	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0																						
マ ツ ト 布 設	世話役	人	0.26	0.26	0.26	0.26	0.36	0.59	マ ツ ト 布 設	世話役	人	0.26	0.26	0.26	0.26	0.36	0.59																						
	特殊作業員	〃	0.26	0.26	0.26	0.26	0.36	0.59		特殊作業員	〃	0.26	0.26	0.26	0.26	0.36	0.59																						
	山林砂防工	〃	1.56	1.56	1.56	1.56	2.16	3.54		山林砂防工	〃	1.56	1.56	1.56	1.56	2.16	3.54																						
	潜水士	〃	—	—	—	—	—	—		潜水士	〃	—	—	—	—	—	—																						
注 入 費	世話役	人	0.38	0.56	0.38	0.56	1.04	1.74	注 入 費	世話役	人	0.38	0.56	0.38	0.56	1.04	1.74																						
	特殊作業員	〃	1.14	1.68	1.14	1.68	3.12	5.22		特殊作業員	〃	1.14	1.68	1.14	1.68	3.12	5.22																						
	山林砂防工	〃	1.52	2.24	1.52	2.24	4.16	6.96		山林砂防工	〃	1.52	2.24	1.52	2.24	4.16	6.96																						
	潜水士	〃	—	—	—	—	—	—		潜水士	〃	—	—	—	—	—	—																						
機 械	コンクリートポンプ車運転	時間	3.00	4.50	3.00	4.50	8.35	13.93	機 械	コンクリートポンプ車運転	時間	3.00	4.50	3.00	4.50	8.35	13.93																						
	小型揚水ポンプ運転	日	0.50	0.75	0.50	0.75	1.39	2.32		小型揚水ポンプ運転	日	0.50	0.75	0.50	0.75	1.39	2.32																						
＊雑材料費＝(マット＋注入材料)の合計金額×2％										＊雑材料費＝(マット＋注入材料)の合計金額×2％																													
備考 1. 上記により難しい場合は、技術資料等を参考にして、別途考慮すること。 2. 布製型枠工の設置の勾配は、45°（1割）以下の緩勾配とすること。 3. 布製型枠工の設置面は、原則として、掘削面仕上げ・盛土面仕上げを行い、平滑に仕上げること。 4. <u>（削除）</u> 空隙部には、現場状況に応じた工種を別途考慮すること。 5. ポンプ打設のできない施工地は、別途考慮すること。										備考 1. 上記により難しい場合は、技術資料等を参考にして、別途考慮すること。 2. 布製型枠工の設置の勾配は、45°（1割）以下の緩勾配とすること。 3. 布製型枠工の設置面は、原則として、掘削面仕上げ・盛土面仕上げを行い、平滑に仕上げること。 4. <u>NB型</u> の空隙部には、現場状況に応じた工種を別途考慮すること。 5. ポンプ打設のできない施工地は、別途考慮すること。																													
カ～ク（略）										カ～ク（略）																													
(5)（略）										(5)（略）																													